

巻 頭 言

別府大学日本語教育研究センター長

下 村 智

別府大学日本語教育研究センターは、文学部国文学科日本語課程を前身に、2009年4月に設立されました。留学生における専門教育の成果は、その日本語力と密接な関係を持っていることが知られています。体系的で効率的な日本語教育の環境を整備し、全学の留学生への学習支援をより充実したものにするため、センター化が企図されました。

同時に、よりよい教育を実践してゆくためには、教育の改善に資する研究が欠かせないものと考えられます。本センターでは、昨年度、『別府大学日本語教育研究』を創刊し、日ごろの教育実践の基盤となる研究の成果を公表することにしました。

第2号となる本号では、発行媒体が紙本から光ディスクに変更されましたが、現場の教育実践をつうじて得られた問題意識や気づきにもとづく研究や報告を掲載するという理念は、引き継がれているものと思います。本紀要が、日本語教育の現場に立つ教員や研究者において、成果を発表する機会となり、さらなる発展への一助となるよう期待する次第です。

教育の国際化と実質化が唱えられて久しいなか、日本語教育は、教育と研究とを有機的に連結するだけでなく、学習者の個性や可能性を尊重してその成長に寄与するものでありつづけなければなりません。これは、けして簡単な課題だとは思いませんが、本センターは、その高みに向かってこれからも努力を続けてまいります。

最後に、本号の刊行にあたっては、多くの方々に様々なかたちでご支援をいただきました。この場を借り、改めて厚く御礼申し上げます。

平成24年3月1日